お知らせ

23.4.1変更

平成23年度　二松学舎大学 日本漢文教育研究プログラム 公開講座

平成23年度日本漢文教育研究プログラムが開催する特別講義等は、**日本漢文学研究又は漢文文献の調査・整理**に関心を持つ**若手研究者**及び書誌調査の**専門技能者**を育成する講座です。 受講対象者は、学内外の**大学院生及び院生レベル**の若者を主とし、他に一般社会人等にも、講義あるいは講習等を通じて必要な**基礎知識と技能**を身につけていただくことを目的としています。

◆受 講 料 ： **無 料**　◆対 象 者 ： 学生、研究者、教員、図書館員及び一般の方　◆会 場 ： 本学九段校舎

◆応募締切等： **各講座の開始1週間前** 〔A：特別講座（1・2）は、受講申込により、定員になり次第締切ます。〕
〔B：**集中・演習講座（3～7）**は、受講許可の選考を行います。〕

◆申込・問い合わせ先 ： 二松学舎大学日本漢文教育研究プログラム事務室　〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16 （九段校舎）
TEL：03-3261-3535 Fax：03-3261-3536　e-mail ：kanbun-1@nishogakusha-u.ac.jp　URL：http://www.nishogakusha-kanbun.net

東日本大震災に対する本学の授業期間変更に伴うお知らせ
＊4月8日（金）授業開始を 5月2日（月）となりましたので
4月中の本プログラム公開講座は閉講し、5月9日（月）から開講いたします。

講座名			内容	講師	所属	期間・時限等	募集人員
特別講座	1	江戸の漢文	前年度に引き続き、江戸時代から明治初期にかけて日本人が書いた漢文作品を読む。テキストは、プリント（『近世名家遊記文鈔』のコピー）を用い、ほかに関連する日本人及び中国人の作品を随時プリントで補う。	佐藤　保	本学顧問 前理事長	月曜日 6時限 前期・後期	締め切りました
	2	江戸の漢詩	江戸時代は、日本における漢詩の“空前絶後”の繁栄期である。260年の江戸時代を、四期に分け、それぞれの時期の代表的な作品を解説し・鑑賞しながら、その発展の様相を見、併せて日本漢詩の独自性が那辺に在るかを考え、今年は、後期（最盛期）の詩を見る。	石川　忠久	本学顧問 元学長	木曜日 6時限 ＊注3	締め切りました
集中講座	3	『本朝続文粋』を読む	撰者未詳の『本朝続文粋』十三巻には、紀伝道の儒者によって書かれた平安後期の名文が集成されている。本書に対する評価は概して低く、平安前期の文章を収める『本朝文粋』の亜流と見なされがちだが、決してそうではない。古代から中世にかけての日本漢学の展開を考える上で、重要な作品が多く見出されるのである。本講座では、その中から対策文、辞表、奏状、願文などを取り上げて精読し、当時の漢学を体系的に把握することを目指したい。	佐藤　道生	慶應義塾大学 教授	土曜日 12/3（2・3・4）， 12/10（3・4）	締め切りました
	4	無刊記本の対処と分類	古書整理での実務上の立場から、無刊記本だからと言って、単に刊年不明としないで、書物の如何なる点に着目すれば、少なく書物の実体を反映した刊記表示が可能になるかを、考えて見ましょう。更に前回に続けて四部分類の子部について解説をします。	高橋　良政	日本大学 教授	土曜日 7/9（2・3・4）， 7/16（3・4）	締め切りました
演習講座＊（本学授業科目）	5	漢籍書誌学	漢籍の目録作成と解題執筆を通じて、漢籍書誌学の基本を学習する。実物を手に取り、版面の比較、調査カードの記入など、実践的な演習を行う。	高山　節也	本学 教授	水曜日 4時限	締め切りました
	6	古文書解読講座	江戸～明治期の儒者・医者など、漢字漢文に素養のある人々の、書簡・日記・書幅などの肉筆資料を中心に読解していく。一般に漢籍と違って、国書では書写資料の占める割合が非常に高く、ことに江戸～明治期の漢詩漢文は、同好者間に小部数流通した場合が多く、この分野を扱う以上、書写資料の読解は避けて通れない。多くの資料に触れて、当時の書体・用字・用語に習熟して欲しい。	町　泉寿郎	本学 准教授	火曜日 2時限	締め切りました
	7	『中世随筆』の研究	鴨長明・卜部兼好の作品を取り上げ、中世随筆の特色を文体の方から究明していく。長明の『方丈記』は慶滋保胤の『池亭記』の影響を強く受けており、漢文訓読的な文体を有する。それに対して兼好の『徒然草』は、『源氏物語』・『枕草子』等の影響を受けて、和文のかった様相を呈している。その両者を取り上げることによって、現代の文体にまで及ぶ我が国の文体史の初めをきわめていこうというのが本講座である。	磯　水絵	本学 教授	木曜日 6時限	締め切りました

注）1. 開講時間 ＝ **2**時限 ： 10:50～12:20　**3**時限 ： 13:00～14:30　**4**時限 ： 14:50～16:20　**6**時限 ： 18:20～19:50　**7**時限 ： 20:00～21:30

2. 前期・後期 ＝ 前期： **5/9** ~~4/8~~ ～7/28の 11~~13~~回　後期： **9/16**～12/24 ・1/8～1/31 の15回

3. №2「江戸の漢詩」の開講予定日 ＝ 前期 ：（ 5 ~~7~~回） ~~4/14,~~ ~~4/21,~~ 5/12, 5,/26, 6/9, 6/23, 7/14

後期 ：（7回） 9/8, 9/22, 10/13, 10/27, 11/10, 11/24, 12/8

4. 開講日等 ＝ 開講予定日・教室は、講師及び学内行事で変更することがあります。.

また、夏期休業は 8/6～9/15、冬期休業は 12/25～1/9 です。